

# こんにちは 牛越です

【第167回】

国際芸術祭の  
開幕迫る



大町市長  
牛越 徹

今年は梅雨入りが大分遅れましたが、早めに梅雨が明け真夏を迎えました。

北アルプス国際芸術祭は、来月13日の開幕までいよいよ1カ月余になりました。4月の北アルプス林研グループの海ノ口の森林でのサイト整備を皮切りに、6月からは海外からの作家を含め、市街地や東山エリアでの制作が始まりました。先月からはいっそう本格化し、作業は開幕直前まで続きます。情報発信の拠点となるインフォメーションセンターは、今月3日、信濃大町駅前にオープンします。ぜひお立ち寄りください。

芸術祭は、現代アートの人をひきつける強い力により、大町の魅力を発信し、多くの来訪者と市民の皆様の参画で、市内に人の流動と交流を巻き起こし、地域消費の拡大に結び付け、地域消費の拡大に結び付き、地域を元気にする手掛かりです。特に、コロナ禍で疲弊した地域の元気の再生と、持続可能な地域づくりを目指すものです。

今回も、子どもたちの無償鑑賞券キッズパスポートと、新たに製作する「キッズガイド」を配布します。この資金

の確保には、来月28日までクラウドファンディングにより、多くの皆さんにご協力をお願いしています。

芸術文化に触れることは、子どもの健やかな成長にとって、想像力やコミュニケーション能力などを育む機会になります。普段体験することのない芸術祭での貴重な経験は、感性や表現力、思考力を育み、豊かな創造性を培うことに大いに寄与します。

市内小中学校ではアートのスタディツアーを計画しており、仲間と協調し他を思いやる心など、豊かな人間性の涵養に取組んでいます。

今回の芸術祭では、県とタイアップして、障がいのある人たちの個性的な作品を展示する「ザワメキアート展」を開催します。生命力にあふれ、個性的で不思議な魅力のある作品をお楽しみいただきたいと思います。

開幕まで、受け入れ態勢の準備を加速し、メディアや広報媒体を活用した情報発信に努め、多くの皆さんにご来訪いただき、当市の魅力を体感いただけますよう全力で取り組みます。